

## 教育・子ども若者常任委員会 県内行政調査

1 調査日 令和6年7月23日（火）

### 2 調査の概要

#### (1) 滋賀県立聾話学校（栗東市川辺）

県立聾話学校は昭和3年に開校した、滋賀県内唯一の聴覚障害のある幼児・児童生徒が通う特別支援学校である。伝統と実績を生かし、施設・設備を工夫して活用しながら、聴覚障害の特性や発達段階に応じた教育に取り組んでいるところである。

魅力ある学校づくりに資するため、同校を訪問し、施設・設備の状況および教育環境の調査を行った。



#### (2) 滋賀県立草津養護学校（草津市笠山八丁目）

県立草津養護学校は平成3年に開校した知的障害と肢体不自由の児童生徒が通う特別支援学校である。児童生徒の増加に伴う教室不足が大きな課題となり、本課題に対応するため、学校校舎の増改築工事を実施し、令和5年11月に本工事が竣工したところである。

魅力ある学校づくりに資するため、同校を訪問し、施設整備状況の調査を行った。



(3) NPO法人YUMEMURA (大津市伊香立)

NPO法人YUMEMURAは、ここで生きたい！育てたい！そんなまちにする！！をミッションとする様々な母親支援事業を行うため、令和6年3月に法人化された。

同法人は、0か月～9か月までの赤ちゃんの預かりや、母親支援に関する各種講座の開催、子ども食堂の運営、女性をつながりサポート事業への参画などの活動を実施し、大津地域の母親支援の拠点となっている。

今後の委員会審議の参考とするため、NPO法人YUMEMURAの皆さんとの県民参画委員会を開催し、産後の母親支援について意見交換を行った。

